

横浜市訪問介護連絡協議会 令和7年度 第4回幹事会

場所	横浜市健康福祉センター 8階F会議室
日時	令和7年10月21日(火)18:30~20:00
議題	<p>※協賛企業様よりご挨拶とご案内 株式会社日本トリム様</p> <p>※横浜市から</p> <p>1) 報告・検討事項</p> <p>①職業講話委員会報告 9月26日金曜 岩井原中学校 10月7日火曜 課題解決型 大鳥中学校</p> <p>②多職種連携委員会より 三団体研修について 令和8年1月20日</p> <p>③横浜市からの業務委託研修 離職防止研修 (主幹は三役) 11月18日火曜 14:00-16:00 神奈川公会堂 1号会議室</p> <p>④広報委員会より</p> <p>⑤研修委員会より</p> <p>⑥中区からの要望書について</p> <p>2) 各委員会に分かれて打ち合わせ</p>
出席者 順不同・敬称 略・役職略・ 所属先略	中野(横浜市高齢在宅支援課)、内田(横浜市高齢在宅支援課)、井野(株式会社日本トリム横浜営業所所長)、浅野(株式会社日本トリム横浜営業所DS事業部係長)、田中(中区)、本間(鶴見区)、細川(旭区)、佐藤永弘(鶴見区)、政門(金沢区)、佐藤佑輝(神奈川区)、川名(緑区)、齋藤(緑区)、阪井(戸塚区)、近藤(保土ヶ谷区)、田島(磯子区)、菅原(港北区)、栗林(中区)
	<p>★日本トリム様より 今年度当会活動へのご協賛にあたりご挨拶、並びに同社製品の電解水素水整水器、健康&衛生セミナーのご案内を頂いた。</p> <p>★横浜市より 中野横浜市高齢在宅支援課係長よりご挨拶を頂いた。</p> <p>報告・検討事項</p> <p>①職業講話委員会報告</p> <ul style="list-style-type: none"> 9月26日金曜 横浜市立岩井原中学校 齋藤さん、田島さん、佐藤永弘さんとご一緒に参加しました。齋藤さんに用意いただいた高齢者疑似体験キッドを使用しました。高齢者の立場に立って考えることができ、子供たちにとってはとても良かったと、先生からは評価していただきました。(川名職業講話委員長) 10月7日火曜 横浜市立大鳥中学校 課題解決型 細川さん、佐藤永弘さんとご一緒に参加しました。細川さんにまず訪問介護についての説明をしていただき、当会の紹介をしていただきました。その後、地元の事業所ということで私が生徒たちにお話しをしました。今回課題解決型の講話で、生徒たちに課題を出しました。それは独居の高齢者と交流し元気になってもらえる企画を自由に考えてください、というものでした。彼らはいくつかのグループに分かれて総合の時間の中でプレゼンに向けた準備をしてくれています。12月12日に再びお邪魔して、生徒たちの発表を聞かせていただく予定です。(栗林副代表)

※次回 12月12日金曜 12:30-16:00 細川さん、佐藤永弘さん、阪井さん、栗林出席予定

②多職種連携委員会より三団体研修について 令和8年1月20日火曜 18:30-横浜市健康福祉総合センター8階 AB 会議室

- ・当会の幹事会が同日に重なるので、1月13日(火)に変更(横浜市健康福祉総合センター904 会議室)。
- ・9月11日に2回目の打ち合わせ会があり、台本の作成、演出、キャストなどが決まりました。10月中にチラシを作り、11月中頃までに配信したいと思います。チラシは3団体それぞれが作成しますが、申し込みQRコードを統一して集計は主幹のケアマネが行います。非会員も参加OKとします。
(佐藤佑輝多職種連携委員長)

③離職防止研修について

11月18日火曜 14:00-16:00 神奈川公会堂1号会議室

今回黒木講師の方で、前回と違う部分として「上司や部下はどういうタイプの間で、どう接したら良いか」という内容の資料を加えていて興味深いです。まだ参加希望者が少ないので皆様のご協力をお願いします。(田中代表)

④研修委員会 報告

9月17日水曜に行われた「伝えることを遠慮しない、遠慮させない」の研修報告です。急遽日本ヘルパー協会横浜支部会長日高淳先生が講師を引き受けてくださいました。42名の参加でした。ヘルパーが臆することなく自分の意見を言うためには、日々の勉強が大切、というお話がとても印象に残っています。グループワークではサ責経験年数ごとに座を囲み、経験年数が違うと見方も異なり大変勉強になった、というご意見などを頂きました。(政門研修委員長)

⑤広報委員会より

研修委員会からの報告については頂いたアンケート結果と一緒に今月中にホームページに掲載します。多職種連携委員会の研修について、離職防止研修の終了後にトップページに掲載します。(齋藤広報委員長)

⑥中区からの要望書について

- ・栗林副代表(中区部会長)より趣旨の説明があった。当会を通して横浜市に要望をしたい旨。
※詳細は要望書を添付
- ・東京都が当該と同様の助成・支援を実施している事例を示し、その実施に至った経緯や根拠を示せると、担当部局としても本案の検討をしやすいです。(中野係長)

配布先

上記出席者および欠席者

(添付資料)

要望書

令和7年10月21日

横浜市訪問介護連絡協議会

田中雅明代表 殿

かいごのWa!なか 代表 蒔田高安
ヘルプ部会長 栗林 仁

件

□要望の概要

市内訪問介護事業所に対する【夏場の酷暑対策支援・助成】を、貴会を通して横浜市当局に対して要請していただきたく、ここに要望を申し上げます。

□要望の背景

年々厳しさの増す夏場の酷暑は、当区の訪問介護事業所職員の健康と円滑な業務遂行において非常に大きな障害となっています。またこの問題は当区に限った事情ではなく全市全域に共通の課題であると推察され、ひいては全市の夏場における訪問介護サービスが崩壊危機に瀕していると言っても過言ではないと考えています。

□要望の具体的な内容案

- 一、 20000円 × 各事業所の訪問介護員として従事する常勤職員数 を算出根拠とする助成金の支給。

※20000円の根拠・・・ 下記 $A \times B \times C$

A スポーツドリンク等職員への支給 200円×2本 / 1日 (= 400円/1日)

B 常勤職員の平均的な1か月の稼働日数 25日間

C 酷暑の推定される期間 7月、8月の2か月間

※常勤職員数の決め方・・・ 直近の常勤換算人数

以上